

★ まちの再生のために「ゆうばり再生市民会議」が開かれ、このなかで運営委員を公募したところ、二十五名の方々が応募をいただきました。

これからは、運営委員の方々を始め、市民と行政が協働して、市民会議の進め方について考えながら、市民の皆さんがいきいきと暮らせるまちづくりを進めていきたいと思えます。

なお、七月二十日（金）第一回運営委員会が開かれ、運営委員の方々から今後の抱負が述べられましたので、その一部分について、ご紹介いたします。

（五十音順）

上木和正 委員

「再生とは人が集まって楽しむところにあることであり、どう楽しむか考えたい」

大西ヨシ子委員

「ボランティアを通して市民の苦しみや悩みをお互いに話し合いたい」

岡沼永人 委員

「市民の活力を引き出し、まちの再生のため運営委員として黒子役として頑張りたい」

柿崎貴子 委員

「市外からの援助はずっと続くものではなく、市民として子供達につらい思いをさせたくない」

熊谷桂子 委員

「高齢化率が四〇%を超え、安心して暮らしていくために足りないものを自分達で考え取り組む場としたい」

源藤世榮子委員

「映画、観光、福祉の活動に

佐々木徹二委員

「市役所周辺、鹿の谷山手町付近の草刈り、花壇などの手入れを行っている」

佐々木葉子委員

「紅葉山以外の活動を知りたい」

佐藤秀悌 委員

「福祉分野で参加したい」



園 泰子 委員

「地区のネットワークづくり、市民の連携が必要と感じて参加した」

高橋京子 委員

「生まれ育った夕張のために何かをしたい。住んでいて良かったと思えるまちづくりに取り組みたい」

滝口洋子 委員

「高齢者が楽しみながら健康維持にも繋がるような仕事おこしを行いたい」

原 壽典 委員

「花壇、環境の整備で観光客の目を楽しませたい」

平田千鶴子委員

「夕張に希望が持てるまちに

本保るり子委員

「子供を持つ親として夕張の破綻の影響を感じている。若い世代につながりが持てるような活動をしたい」

本間輝子 委員

「市民の一人として市民会議のお手伝いがしたい」

政氏壽夫 委員

「夕張の再生には経済的な活動が必要と感じている。札幌や空港から近い環境を活かして観光客を呼び込みたい」

松宮文恵 委員

「焼却場閉鎖によってゴミの分別が無くなり、有料化となることで分別化、減量化が必要と感じた」

三島京子 委員

「福祉施設で持っている情報、知識、人材を地域で活かし、他方で地域住民に施設を活用してもらおう流れをつくりたい」

森谷 猛 委員

「日常生活に欠かすことのできない施設の問題を考え、住民の拠り所を守る活動に取り組みたい」

矢板好子 委員

「全国からの夕張支援を、市民ががんばっていることを発信しながら感謝の気持ちを伝えていきたい」

吉田 菊子委員

「市民の役に立つ活動に取り組みたい」

吉田 裕 委員

「市民生活における切実な問題に取り組み、市民が主体的にまちづくりを行う事に係っていききたい」



★ 市民会議の主旨（考え方）について

運営委員会の開催にあたり、以下の事項について確認されました。

- ①夕張を活力ある住み良い街にするため、市民一人ひとりが今自分達でできることを考え、継続的な市民活動を生むきっかけを創り、全市民的なネットワーク作りを目的とする。
- ②市民会議運営委員会で生まれた市民活動を市民と行政が協働して取り組みながら、市民の活動を広報等で紹介する。

★ 今後の進め方について

運営委員の皆さんから活発な意見が出ましたが、今回の会議では運営委員会の進め方について結論には至りませんでした。

今後、運営委員が既に参加している活動や身近で行われている活動について、情報を集約のうえ、概ね一ヵ月後に次回運営委員会を開催し、その進め方について再度話し合うこととなりました。